

論文審査の結果の要旨

氏名：泉沢 幾子

博士の専攻分野の名称：博士（獣医学）

論文題名：国内の飼育下鳥類における消化管寄生原虫感染症に関する研究

審査委員：（主査）教授 佐藤 雪太

（副査）教授 鯉江 洋

教授 松本 淳

本研究では、国内の飼育下鳥類における消化管寄生原虫の保有状況の解明、保有原虫の分子系統解析および感染個体の臨床的検討を行った。その結果、愛玩鳥類はクリプトスポリジウム（*Cryptosporidium*）、コクシジウム（*Eimeria*）などの各種消化管寄生原虫に感染していること、特にコザクラインコのクリプトスポリジウム感染と個体年齢との関係や、これまでより原虫保有率は低く、原虫の遺伝子型は同じ avian genotype III であることを明らかにした。また、下痢、嘔吐、重度脱水を呈した飼育下オオフウロウから、新たな遺伝子型のクリプトスポリジウムを検出し、対症療法により個体の QOL 向上が見込めることも示唆した。さらに、展示施設のシロフクロウから検出されたコクシジウムは、これまで国内では検出されていない鳥類寄生種である可能性を示唆した。

以上から、国内の愛玩鳥類および展示鳥類では、クリプトスポリジウムやコクシジウム感染が依然として継続しており、一部では治療が可能なものの、病原性が不明な種も分布している状況が明らかになった。これらの結果は、今後の国内における鳥類の消化管寄生原虫の感染制御のための基盤的知見となり、飼育下鳥類に対する効果的な治療法の確立に貢献すると思われる。よって本論文は、博士（獣医学）の学位を授与されるに値するものと認められる。

以 上

令和2年 2月 21日